

決済動向

— 平成9年10月 —

(平成9年12月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

10月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.8万件（前年比+21.9%）、金額ベースでは338.2兆円（前年比+6.7%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は317.1兆円（前年比+6.6%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は15.2兆円（前年比+12.6%）となった。

10月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで11.7万件（前年比+47.5%）、金額ベースで358.1兆円（前年比+60.6%）となった。また、日本銀行における振決国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで6.9万件（前年比+48.1%）、金額ベースで355.4兆円（前年比+56.2%）となった。

10月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで138.4万件（前年比+6.6%）、金額ベースで5.4兆円（前年比-1.3%）となった。

10月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.1兆円（前年比-4.5%）、支払高7.8兆円（前年比+5.6%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、10月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは37.7万枚（前年比-6.2%）、金額ベースでは4.3兆円（前年比-10.3%）となった。

10月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは408.0万件（前年比+6.2%）、金額ベースでは8.7兆円（前年比+5.8%）となった。

10月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは4.2万件（前年比+10.5%）、金額ベースでは41.4兆円（前年比+19.7%）となった。

3. その他

10月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は10.5万契約（前年比+18.1%）、月末の建玉数量は182.8万契約（前年比+12.6%）となった。

9月、10月のS W I F T総送信件数（本邦分、月中合計）は、それぞれ250.4万件（前年比+20.6%）、271.4万件（前年比+12.9%）となった。

（信用機構局）